

砂と暮らし 砂に学ぶ

ITP
だより

28

私は中国北部の騰格里(トウゲリ)沙漠に位置する沙坡頭(シャポトウ)で生物クラストに関する研究・調査を行っています。生物クラストとは、土壌中に存在する微生物や苔類などが土壌の表層に形成する薄い皮膜のことです。

自然に分解されますが、その過程で、まず微生物が繁殖し、続いて地衣類、苔類が生物クラストを形成し、砂地の表面を覆っていきます。生物クラストは、風や雨によって土壌が流亡するのを軽減する効果があると期待されていますが、この機能はまだ十分に解明されていません。そのため、私は生物クラストと降雨の関係、特に生物クラストで覆われ

生物クラストの機能



苔類によって形成された生物クラスト(写真=島状の部分)。土壌の流亡を防ぎ、かつ水分を浸透させる働きをする

た土壌面に降った雨がどの程度、どのように土壌中に浸透していくのかについて調べています。調査の結果、生物クラストの種類や厚さによって、

降雨の浸透率が異なることが分かってきました。(鳥取大学大学院農学研究科学生・窪田慎一)(水曜日に掲載)